

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和3年度分 】

施設名	原鹿の旧豪農屋敷	施設所管課	文化スポーツ課
指定管理者	NPO法人斐川環境A M Y ネット 2 1	指定管理期間	平成30年04月01日 から 令和5年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 地域の各種団体や地域住民と連携した事業を積極的に行っているほか、新しい事業にも取り組んでいることは、評価できる。施設の維持管理についても良好に管理されている。 入館者数、利用件数、利用人数及び利用料金収入は回復傾向となった。
	【改善すべき点】 当施設は、出雲市指定文化財であるため、適切な維持管理を行うことが必要である。そして、伝承されてきた文化遺産を多くの人に知ってもらうために、入館者の増加が必要である。
指定管理者	【優れていると評価した点】 伝統的な農村文化拠点として発信し、出雲市の観光拠点を目指した。「手作り作品展」や「パッチワークキルト展」など自主企画事業を積極的に開催した。コミセンや地域関係諸団体とも連携を深め、利用向上に努めた。施設管理については、仕様書どおりの水準で管理を行った。
	【改善すべき点】 イベントの新規開催や小規模な利用などで利用件数を増やす。

2. 施設利用について

総括	地域の各種団体や地域住民と連携・協働し各種事業等を開催するなど、入館者を増やすことに努めている。結婚写真の前撮り利用のキャンセルもあったが昨季よりは改善した。今後の状況が不透明ではあるが、感染防止対策を図りながら、継続的な利用につなげてほしい。
----	--

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

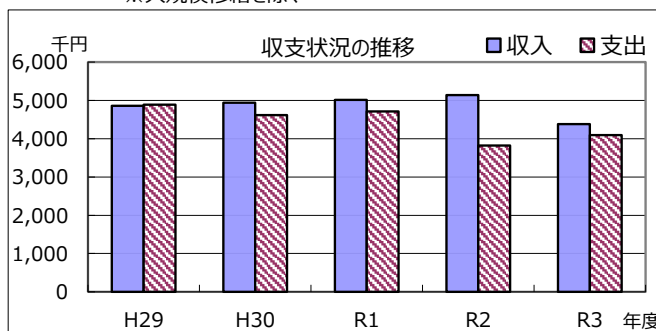
施設	項目	H29	H30	R1	R2	R3
の	収入	4,856	4,940	5,012	5,138	4,382
	うち指定管理料	3,578	3,755	3,791	3,864	3,806
	うち利用料	37	177	252	121	255
	その他	1,241	1,008	969	1,153	321
支	支出	4,890	4,614	4,710	3,820	4,090
	差引	△ 34	326	302	1,318	292

<上記以外の市の収入、支出>

（単位：千円）

市の	項目	H29	H30	R1	R2	R3
の	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	753	1,493	1,311	1,349	526
支	うち修繕費	665	1,402	1,221	894	333

※大規模修繕を除く



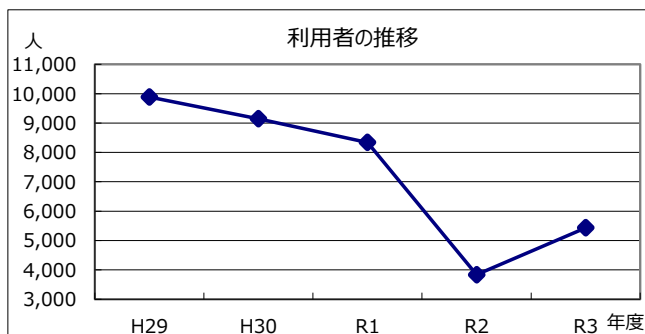
収入増・コスト削減に関する取り組み

自主企画やイベントを積極的に開催し、物販などで増収を図った。
事前に適正な見積りを徴取し、公平性と経費の低減を十分検討した。

(2) 入館者の推移

(単位：人)

入館者	H29	H30	R1	R2	R3
	9,885	9,145	8,338	3,838	5,436



利用者の増に向けた取り組み・利用の動向

各地区のコミセン、自治協会、ボランティア団体など地域団体などとの連携を深めながら取り組んだ。毎月、業務連絡会の定例化により、情報の収集や問題の速やかな解決を図った。コロナ禍、休館や予定していたイベントや来館者数が回復傾向に。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

通年でアンケート等を実施している。日常的に「お客様の声」の収集を行っている。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見	
8 件	①非常に良い	3 件 37.5 %	
	②良い	4 件 50.0 %	
	③ふつう	件 0.0 %	
	④悪い	1 件 12.5 %	
	⑤非常に悪い	件 0.0 %	

(4) 住民サービス向上の取り組み・事例

地域の各種団体や地域住民と連携・協働し各種事業を展開・相互交流を行ったほか、地域文化活動者に作品展等、発表の場を提供した。

3. 自主事業について

総括	地域の各種団体や地域住民と連携・協働し、年間を通して様々な特色ある事業を展開し、集客を図った。また、地域に古くから伝わる沖洲天神といった地域伝統文化の保存・継承に努めた点が評価できる。 例年開催している事業の他に新しい事業にも取り組んでいる点も評価できる。
実施状況	○沖洲天神とひな人形展 ○パッチワークキルト展 ○手づくり作品展

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・故障発生時に専門業者に、日常の管理方法等について積極的にアドバイスを求め、維持管理の参考にしている。
- ・職員による巡回を行い、危険を想定し事故の未然防止に努めている。
- ・消防訓練、防災及び避難所対応の講習会を実施した。
- ・緊急対応マニュアルは作成済み。独自のハザードマップ及びケースごとのマニュアルも策定し、職員間で共有している。

5. 職員（従業員等）の待遇・研修について

月1度の業務連絡会で、役職員間との情報交換や問題・課題等に対し迅速に対応し、業務の水準向上や的確な運営管理体制を図った。